

スーパーポリアミド樹脂による ノンクラスプデンチャーの臨床応用 Q & A

設計に関するご質問 1

印象に関するご質問 3

咬合調整に関するご質問 4

料金に関するご質問 4

修理に関するご質問 5

材料に関するご質問 6

設計に関するご質問

Q メタルのバーを使用されない理由を教えてください。

金属床とノンクラスプデンチャーの併用は行わないほうが良いのでしょうか。
選択基準があれば、教えてください。

A メタルのバーの使用や金属床との併用は行っておりません。床タイプの方が将来的なリベースや増歯において有利だからです。またコスト面でも安く済みます。
床の場合はバーよりも面積を必要としますが、患者さんによっても違和感の感じ方は違いますので、それぞれ考慮してバイトや試適時に基礎床で床の面積を決めていきます。
バーや金属床はフィニッシングラインが気になるという旨の違和感を訴える患者さんも少なくありません。金属床義歯自体は、下顎遊離端で骨隆起が顕著な場合で床面積が確保できない場合に用いています。

Q バーなどの金属を使った症例は無かったのですが、破折などのトラブルは無いのでしょうか。

A バーは使用していませんが、破折などのトラブルはほとんどありません。講演でもお話したように側方運動時にも義歯が動かないようになるまで咬合調整をおこなうことが破折防止、ひいては長期維持のためにも重要と思います。ただ個人差もありますが、さすがに10年も経過すると素材の劣化もあり、破折が見受けられます。この場合は作り直しを患者さんをお願いします。患者さんも10年も持ったということで納得されます。

Q パラタルプレートやリングルプレートを併用した方が変形や破損のリスクが低いように感じますが、破損リスクはどちらが高いのでしょうか。

A 確かにメタルプレート等を併用した方が義歯の破折はなくなります。しかし破折しないばかりに残存歯に負担がかかり続け、結果的に抜歯という連鎖に繋がる可能性もあります。床タイプであれば、鉤歯がダメになる前に床が破折してくれます。割れた義歯は修理また再製作できますが、歯は元に戻りません。

Q レストを付与する場合としない場合の設計の判断基準は、こういった点でしょうか。

A 私は基本的に支台歯（鉤歯）に問題がなければレストを付与します。レストを付与しないことも多いですが、付与しない場合の基準は、片側の臼歯残存数が2歯以下の場合。この場合残った歯も総じて状態が良くありませんので。
レスト無しの場合は粘膜負担（床の面積）で補います。強度面も含めできるだけ広く面積をとりたいですが、患者さんによっても違和感の感じ方は違いますので、それぞれ考慮してバイトや試適時に基礎床で床の面積を決めていきます

Q シングルアームかダブルアームかを選択する設計の基準は何でしょうか。

A ダブルアーム（場合によっては3歯アーム）は片側遊離端欠損の片側処理の場合、最後臼歯、欠損部隣接歯に動揺があり負担をかけたくない場合にその歯をまたいでアームをかける時、などに使います。不安な歯があればその旨指示書に書いておけば愛歯さんの方でダブルアームで設計してくれます

Q スーパーポリアミド素材で、FD形態あるいはFDに準じた形態の義歯を製作すると重くなく、とても薄く作成することもできそうなので舌感もよく会話もしやすく患者さんに喜ばれそうだと思いました。精度と吸着についてはかなり期待できるでしょうか。

A キレイデスFDは、軽くて薄く、適合精度も非常に高いので患者満足度も高い自費義歯として、とても有効だと感じています。

Q 最後方臼歯遠心の適度なアンダーカットの指標はどのくらいでしょうか。また前歯においても適用する指標なのでしょうか。

A 最後方臼歯遠心、また前歯の適度なアンダーカットの指標は天然歯だと思っています。つまり天然歯の場合は必ずアンダーカットがありますから特に形成はしていませんが、すでにセットされているクラウン等で遠心にアンダーカットがない場合は少し削ってアンダーカットを付与しています。具体的な形成量というものはありませんが、少しあれば大丈夫です。
逆にアンダーカットがあり過ぎる分には、愛歯さんの方でブロックアウトして製作してくれますから問題ありません。

印象に関するご質問

Q シリコン印象とアルギン酸印象した場合では、義歯に違いは臨床上はないのでしょうか。

印象はコスト面を気にしなければシリコンが望ましいのでしょうか。

A 私はシリコン印象材は一切使用していませんが、シリコン印象材を日頃使い慣れていらっしゃるのであれば良いと思います。

シリコンとアルギン酸それぞれ数値上の違いはあり、シリコンの方が精度が高いのですが、いずれにしても日頃使い慣れている印象材を使うことが一番重要です。

私はアルギン酸印象材しか使用しませんが、今おすすめの印象材があります。

GCの「アローマインジェクション」で、連合印象用ですが、寒天ではなくアルギン酸です。最近ノンクラスプデンチャーに関しては私はもっぱらこれと普通のアルギン酸印象材で連合印象しています。とても結果が良く、尚且つ使いやすいのでお勧めします。

Q 粘膜の加圧印象する症例がありましたが、具体的な方法（個人トレイの設計、設定）を教えてください。

A 加圧印象をふまえて、アルギン酸印象材を通常（メーカー指定混水比）よりも若干固めに練っています。上記の「アローマインジェクション」と普通のアルギン酸印象材で連合印象しています。個人トレイの設計・設定に関しては、通法に則ったごく普通のオーソドックスなものです。

Q 印象時にユーティリティワックスを使用する部位はアームがかかる鉤歯の鼓形空隙にもおこないますか。

A 印象時のユーティリティワックスは鼓形空隙にも使用します。ただやりすぎるとアームで維持が取れなくなりますので、咬合面から見てユーティリティワックスがはみ出ない程度を基準として使用しています。

咬合調整に関するご質問

Q 咬合調整粘膜調整の勘所等あれば教えてください。

A 咬合調整に関しては講演でもお話したように、どのようなケースであれ、側方運動時に手を当てて義歯が動かなくなる様になるまでを基本に行っています。

Q ノンクラスプデンチャーはメタルレストもなく、柔らかいため咬合調整が大切で、側方運動の排除をしますが、実際使用時には、上下歯列の間には食物が介在するため、義歯がたわんだり歪みが生じたりすると思いますが、歯肉粘膜に当たり、痛みは出ないのでしょうか。

A よほど固いものを食べない限り大丈夫です。無理して固いものを食べた患者さんが義歯の動きによって痛みが出て来院されます。ですからセット時の咬合調整が重要になってきます。手を当てて、側方運動時にも義歯が動かなくなるまで調整します。

料金に関するご質問

Q 中間歯欠損、片側遊離端、両側遊離端、多数歯欠損、総義歯などのキレイデスの患者さん負担額はいくらぐらいの設定をしていますか。

A 当院での価格設定は、8万～16万円の範囲で欠損歯数や技工料金を参考に決めています。欠損別に明確に決めている訳ではありません。

Q メンテナンス費や修理費（アームの修理とか人工歯の修理など）はいくらぐらいの設定をしていますか。

A 修理は愛歯さんに依頼した場合は、修理技工料金の3倍位で、院内修理の場合は1万円前後位です

修理に関するご質問

Q 床破折が修理可能で、アームの修理が不可能な理由は、接着面積が少ないからでしょうか？床もアームもたわむので、床破折の修理も不可能ではないでしょうか？

A 講演内でも側方運動時に義歯が動かなくなるまで手を当てながら咬合調整をすることが重要と述べましたが、患者さんの口腔内で普通に機能している間、実は床がたわむことはありません。つまり床がたわまなくなるまで咬合調整を行うことが大切です。たわむのは着脱時に強い力が加わるアーム部分のみということになります。このことから床破折は自院での修理が可能で、アーム破折の修理は愛歯さんの方で床材料と同一樹脂を填入しなければならないため自院での修理は不可能ということになります。

Q 修理した義歯、例えばアーム内面の修理などですが、問題なくその後数年は使うことが可能でしょうか？ 修理を繰り返す必要があるのでしょうか？

A 修理したアームですが、2～3年は充分にもちます。

Q ライトリベースで修理する場合、光重合機の照射時間の目安はどのくらいですか。

A 光重合器の照射時間はメーカーの推奨する時間に設定しておりますので、こだわりがある訳ではありません。

材料に関するご質問

Q ノンクラスプデンチャーの人工歯は硬質レジン歯、又はレジン歯どちらをよく使用されますか。

A ノンクラスプデンチャーに関しては、硬質レジン歯のみを使用しています。愛歯さんからレジン歯は義歯製作時、研磨の摩耗に耐えられないので硬質レジン歯のみしか使用できない旨をお聞きしたことがあります。

Q 保険義歯の材料と比較して、キレイデスで使用している材料は重合収縮などが小さく適合もかなり良好になりますか。

A 保険義歯のアクリルレジンとは重合収縮による歪みが避けられませんが、キレイデスに使用されているスーパーポリアミド樹脂は熱可塑性樹脂なので収縮なども少なく適合精度も良いと思います。

Q 義歯の内面を削っていたバーは何でしょうか。

A 「WSPTスムースバー」というジルコニアバーを使用しています。

Q 床削合時使用するバーは保険義歯に使用するバーと同じでよろしいでしょうか。

A 床削合のバーは保険義歯と同じで構いません

Q キレイデスの床素材のスーパーポリアミドはレジンと異なり、研磨が難しいのですが、おすすめのバーはありますか？

A 修理後の研磨に使用しているバーは保険義歯でも使用しているごく普通のバー、ポイントですが、愛歯さんの方からもより効率的なものを紹介できる様です。

Q 歯ブラシや洗浄剤などは保険の義歯と同じでよろしいでしょうか

A 当院でも洗浄剤は保険義歯と同じものを勧めています。（キラリやピカ等）
義歯ブラシに関しては柔らかいものを推奨しているので、おすすめはライオンの口腔粘膜ケア用ブラシ『エラック 510 ソフト』です。